

インマヌエル中目黒キリスト教会 2012年12月30日 聖日礼拝

年末感謝礼拝に臨み

「恵みによって今の私に」

第一コリント15章3－10節

竿代照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

コリント人への手紙第一

15章 3-10節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

変更箇所：4節

第二版の聖書はp348/ 第三版の聖書はp340

3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。

キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、

5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

- 6 その後、キリストは五百人以上の兄弟たちに同時に現れました。その中の大多数の者は今なお生き残っていますが、すでに眠った者もいくらかいます。
- 7 その後、キリストはヤコブに現れ、それから使徒たち全部に現れました。
- 8 そして、最後に、月足らずで生まれた者と同様な私にも、現れてくださいました。

9 私は使徒の中では最も小さい者であって、使徒と呼ばれる価値のない者です。なぜなら、私は神の教会を迫害したからです。

10 ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは、むだにはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。

説教

年末感謝礼拝に臨み

「恵みによって今の私に」

第一コリント

15章 3 -10節

竿代照夫 牧師



主テキスト:

「神の恵みによって 私は 今の私になりました。
そして、 私に対するこの神の恵みは、むだ
にはならず、私はほかのすべての使徒達よ
りも多く働きました。 しかし、それは 私では
なく私にある神の恵みです。」

(1コリント15:10)

1. 今の私に導いた恵み

・「月足らずで生まれた」私：

「月足らず」の解釈 ①未熟児

②後発の信者（使徒）

「すべての聖徒たちのうちで一番小さな私に、この恵みが与えられたのは、私がキリストの測りがたい富を異邦人に宣べ伝え……るためにほかなりません。」

（エペソ3：8－9）

・神の恵みによって救われた私

恵 = 「相応しくないもの、価値のない者に
無代価で与えられる神の愛の賜物」

神の愛を受ける価値のなかったパウロが
救われたのはこの恵みの故

(エペソ2:8=

「恵みの故に、信仰によって救われた」)

- 使徒に任じられた私

「キリストは、私をこの務めに任命して、私を忠実な者と認めてくださった」

- 「神の教会を迫害した」私

「以前ユダヤ教徒であったころの私の行動は、あなたがたがすでに聞いているところです。」
私は激しく神の教会を迫害し、これを滅ぼそうとしました。」
(ガラテヤ1:13)

2. 恵みによる勤労

- 「恵みによるのだから、怠ける」のではない
- 「恵みによるのだから、律法はいらない」
のでもない

「恵みが増し加わるために、罪の中に留まるべきでしょうか。絶対にそんなことはありません。」
(ローマ6:1-2)

- 「恵みを頂くための勤行」でもない

・恵みは勤勉を齎す

「それで、神に仕えることに関して、私は…
誇りを持っているのです。…私はエルサレム
から始めて、ずっと回ってイルリコに至るまで、
キリストの福音をくまなく伝えました。このよう
に、私は、他人の土台の上に建てないように、
キリストの御名がまだ語られていない所に
福音を宣べ伝えることを切に求めたのです。」

(ローマ15:17-20)

3. 恵みが内側で働く

- ・恵みが内側で働く:

パウロの勤労は、彼の内にある
神の恵みが働き出した結果

「このために、私もまた、自分のうちに力強く
働くキリストの力によって、労苦しながら奮闘
しています。」 (コロサイ1:29)

- ・奉仕へのプレッシャーからも解放されよう:
奉仕を行わなければ信仰が増進しない、
というプレッシャーも恵みに逆行する

終わりに:

一年の恵みを感謝し、来る年のために
更なる恵みを信じよう

「神は、さらに豊かな恵みを与えてくださいます。」

(ヤコブ4:6)